

私がお薦めする韓流ドラマ

令和2年6月

1 / 2

最近、韓流ドラマにハマりかけている。

そこで、今回は私がお薦めする韓流ドラマを紹介したいと思う。

にわか韓流ファンなので、突っ込みどころ満載だと思うがご了承ください。ネタバレもあるので、ご注意ください。

韓流ドラマが面白くハマる人が多いと聞いていたが、それまで見てみようとは思っていなかった。私が韓流ドラマに興味を持ったのは、NHKで放送された「オクニョ運命の人」を見てからだ。日曜日の夜11時から放送されていたが、次週まで待ち遠しい気分になったものである。このオクニョは2016年に放送された韓国時代劇で、監獄で生まれ育った一人の天才少女が囚人たちから法や易経などの知識を学び、卓越した能力を持った女性へと成長し、数々の困難に立ち向かう物語である。

1話が約1時間で51話までである大作である。制作するのも大変だったと思うが、見るのも大変である。



こんな風に韓流ドラマに興味を持ち始めた時に、上司から「ミセン-未生-」が面白いので、是非見てほしいと言われた。聞けば、囲碁のプロ棋士を目指していたがプロになれず挫折、少し年をとってから社会人になったものの、学歴なし、社会人経験もほとんどない若者が、コネで入社した一流商社で奮闘するという物語である。そして、その仕事を覚えようとする姿に共感したというのである。



囲碁は詳しくないので本当に面白いのかなと思って見たのだが、これが面白い。囲碁はあまり関係ない。良くできている。2014年に放送されたヒューマンドラマであり、1話が1時間越えの20話である。長いのは間違いはないが見始めると面白いので、隙間時間を利用してながら、比較的早く見てしまった。

主人公であるチャン・グレは、小さい頃から囲碁を学び天才棋士と呼ばれプロに一番近いと言われていた。しかし、父親の死もあり資金がなくアルバイトをしながらプロ試験を受けなければならず、結局プロ棋士になることが出来なかった。

そして26歳で社会人になるわけだが、これまで囲碁しかしておらず、社会人としての準備が出来ていなかった。コネ入社でインターンシップの座を得たが、最初は何もできずコピーすら出来ない状態であった。そこで、チャン・グレは自分に何ができるかを考える。電話帳を一夜で覚え、電話をかけて上司につなぐ。というところからスタートさせた。コピーの取り方は同期を捕まえて聞くなど体裁など気にせずガムシャラに仕事を覚えた。



私がお薦めする韓流ドラマ

令和2年6月

2 / 2

電話帳を一夜で覚えるのは自分には出来ないが、囲碁をしていたから出来たのか、才能なのかはわからない。社会人一年生のころを思い出すと、電話をとるのは勇気がいったものだ。また、最初はコピーをとるのも緊張したような気がする。この辺りはあまり記憶にないのでさほどでもなかったのか。大企業なのに色々な部署の方が、コピー機と休憩室が一緒になった部屋に集まってくる。さすがにこれはドラマ上の設定で、みんなが集まることによってコミュニケーションを取ったり、トラブルが生じたりするように設定しているのだと勝手に思っている。

コネ入社ということもあり、会社に馴染むことが出来ない中で、上司から「仕事は共同作業で、自分だけで仕事をする所ではない」と言われながらも、共同作業をさせてもらえない。どうしたらチームの輪に入れるのか。という葛藤に悩む。そんな中、インターンの同期が起こしたミスを被ることになるのだが、その原因を知った上司のオ・サンシク課長の態度が少しずつ変わる。そして主人公のチャン・グレも仲間になれたと感じる。それもちょっとした言葉一つで。



実世界においてもそうなのだと思う。先輩や上司の言葉一つに一喜一憂し、同期や部下に一喜一憂させてしまう。一人で仕事は出来ない。必ず人と関わる。だから、一つ一つの言葉が大事なのだろう。かと言って口先だけでは本当の言葉は出ない。相手が誰であろうと感謝する気持ちを忘れてはいけない。そう心掛けたい。

インターン試験をパスし、採用を手にしたチャン・グレであったが、2年という期限付きの契約社員であった。そこから正社員になるには学歴が必要であるなど、後半に大きなうねりを与える。



配属先はインターンと同じ場所の営業第三課。上司にオ・サンシク課長がいる部署である。このオ課長が良い。味がある。人間味がある。主役といっても良いのではないだろうか。間違ったことは嫌いで、はっきりと物を言う。実力はあるが出世に興味がない。

このオ課長とキム代理、グレの3人で一丸となって仕事を行っていく。仕事も順調で楽しくなる一方、同期の3人が上司との関係で元気がなくなったり、パワハラ、セクハラで苦しめられたりする。また、自分の実力が認めてもらえないと嘆く。そんな中、どんどん結果を出すグレとの違いに気付いていく。ひたすら真剣に必死になって仕事をするグレ。

こんな感じでドラマは進んでいく。後はドラマを見ていただきたい。

若い人もそうでない人にも、是非見ていただきたい作品である。

それと、「トッケビ-君がくれた愛しい日々-」も面白いのでご覧いただきたい。

設計部 山本 浩

